

MONGOL800のキヨサクさんがオリジナルの歌詞を歌い上げる、  
JTの企業広告『想うた』シリーズ第二弾  
**北村匠海さん & 石井杏奈さんが遠距離恋愛中の恋人を演じる**  
**ピュアで切ない新CM「愛する人を想う」篇がスタート**

12月21日(金)から全国で放映開始  
『想うた』スペシャルサイトでは、ウェブ限定スペシャルムービーも公開！

『想うた』シリーズの第二弾CM「想うた 愛する人を想う」篇を、2018年12月21日(金)から全国で放映開始いたします。  
『想うた』シリーズ第一弾「親を想う」篇では、人気若手俳優の北村匠海（きたむら たくみ）さんが地方から上京して働く新社会人を好演。主人公が親を想う気持ちを MONGOL800 のキヨサク（Vo&Ba）さんがオリジナル楽曲に乗せて熱唱したCMは、SNS 上で「何回見ても泣く」「曲を結婚式で使いたい」「親の想いに気づいた」など企業CMの枠を超えた多くの反響をいただきました。

今回の第二弾「愛する人を想う」篇では、北村匠海さんが主人公を続投し、遠距離恋愛中の恋人役として E-girls のパフォーマーでありながら、第58回ブルーリボン賞新人賞を受賞し、映画やドラマでも活躍中の人気若手女優の石井杏奈（いしい あんな）さんを起用。楽曲・歌唱は同じく MONGOL800 のキヨサク（Vo&Ba）さんが遠距離恋愛中の彼女から彼氏への想いを表現した第二弾オリジナルの歌詞を歌い上げます。

新CMでは、ハグや頭ぼんぼんシーンなど、恋人ならではの甘酸っぱいシーンに加えて「会いたいけどすぐに会えない切なさ」や「素直に甘えられず強がる彼女と、彼女の強がりやを優しく溶かしていく彼氏の想い」、遠距離恋愛中の相手を想う気持ちが伝わる作品に仕上がっています。また、『想うた』スペシャルサイト限定で、お互いを思い合う北村さんと石井さんの物語をより深く掘り下げたウェブ限定スペシャルムービーなども公開いたします。

『想うた』スペシャルサイト [https://www.jti.co.jp/omouta/?utm\\_source=release2](https://www.jti.co.jp/omouta/?utm_source=release2)



## ■ 企業広告『想うた』シリーズについて

---

JTは、「ひとのときを、想う。」という企業思想のもと、「かけがえないひととき」や「大切な時間」を想う企業だからこそ生み出せる価値を、お届けしたいと考えています。人が人を想うこと。自分のことだけではなく、人の気持ちを想像し、思い合い、認め合うこと。いま望まれているのは、そんな世の中なのかもしれません。そこで、2018年6月より、たいせつな人への“想い”を“うた”にのせて届ける企業広告『想うた』シリーズを展開しています。

## ■ 第二弾「想うた 愛する人を想う」篇の見どころ

---

- ストーリー：“遠距離恋愛中の恋人同士が互いに思い合う姿を、彼女の視点から描写”

コンセプトは、現代の遠距離恋愛を通じて描かれる、相手を想うことの大切さです。相手のことを想うばかりに、伝えられない素直な想い。好きだからゆえに、込み上げてくる不安。そんな切ない心の機微を描いています。石井さんが演じるのは、遠距離恋愛の不安や寂しさを抱えながら気丈に振る舞う、明るく凛としたキャラクターの持ち主で、現在、松山市内の美容室で働く23歳の「二宮遥（にのみや はるか）」。「北村さん演じる「村上優人（むらかみ ゆうと）」とは大学時代、友達の紹介で出会い、彼女の方から告白したという設定です。遥から見た優人の印象は、出会った頃と同じ、いつでも優しく、変にかっこつけたりしない、温かな人。だからこそ、彼女の方がたくさん話し、リードするような関係になりましたが、彼が多くを望まないこともあり、いつの間にか素直に甘えることが難しくなっていました。そんな彼女の日常風景を中心に、強がりの裏に隠された女性の想いと、そんな彼女の強がりを優しく溶かしていく男性の思いやりにあふれた行動を通じて、距離を超えて思い合う二人を描いています。

- 楽曲

前回に引き続き、CMで流れる楽曲の歌詞は、本CMのクリエイティブディレクターで、数々のCMソングを手掛ける篠原誠さんが担当。その歌詞を基にMONGOL800のキヨサク(Vo&Ba)さんが作曲し、歌い上げています。前回ご好評をいただいた楽曲自体は変えず、今回の「愛する人」というテーマについてキヨサクさんと意見を交わし、アレンジを加えていただきました。前は主にギターを使っていましたが、今回は、より温かみを持たせる楽曲に仕上げるためアコーディオンを使用しています。

## ■ 撮影現場のオフショット

---



## ■出演者コメント

---

### [出演／北村匠海さん]

#### ・「想うた 愛する人を想う」篇に出演した感想と、見どころ

第二弾のテーマは「愛する人」ということで、石井杏奈さんと遠距離恋愛の恋人役を演じさせていただきました。「ひとのときを、想う。」という言葉がぴったりの設定の撮影では、石井杏奈さんとの共演も久々だったんですけど、そこでもすごく良い“とき”を感じたし、愛だったり、ちょっと切なかったり、くすぐったかったり、短い時間ですけどエネルギーを、CMの中に注ぎ込んだので、ぜひとも楽しんで観ていただけたらうれしいです。

### [出演／石井杏奈さん]

#### ・「想うた 愛する人を想う」篇に出演した感想と、見どころ

撮影では、すごく恥ずかしい気持ちになったり、悲しかったり苦しかったり、でもうれしかったりとか、短い時間の中でもいろんな気持ちになりました。このCMを観てくださる皆さんにも、いろんな気持ちになっていただきたいなと思いますし、皆さんが皆さんの中で愛する人を想いながら、観ていただけたらいいなと思います。

#### ・北村匠海さんと共演されての印象

北村さんとは2年前ドラマで一緒させていただいたのですが、2年たってすごく“とき”を感じました。当時はふたりとも未成年だったのですが、今は成人して、「ああ、なんかこうやって流れていくんだな」と感じました。今回はふたりとも結構話すようになって、お芝居をしていく中でもいろいろなコミュニケーションが取れて、「ああ、こうやって人は良い意味で変わっていくんだな」と思いました。

## ■撮影エピソード

---

### ◇息ぴったりの掛け合いで遠距離恋愛中の恋人同士を好演

撮影に当たり、物語やキャラクターの細かい設定を北村さんと石井さんに伝え、それぞれが思い描く優人と遥を演じていただくことで生まれる化学反応を狙いました。元々の絵コンテには、決められたセリフがほとんどなく、お芝居の細かい内容は北村さんと石井さん、監督の3人でアイデアを出し合い、その場で決めていきましたが、連続ドラマで共演歴もある二人は、終始息の合った演技を披露。特に、回想シーンでデート中に自撮りしたり、仲良く手をつないで歩いたりする初々しい場面が印象的でした。また、休憩中は同じスマホゲームをプレーして盛り上がるなど、仲むつまじい二人が発するハッピーオーラに、周りのスタッフもすっかり癒やされていました。

### ◇ リアリティーを追求したこだわりの再会シーン

カットがかかるたびに、監督が「素晴らしい！」とうなるなど、全体を通してとてもスムーズに進んだ撮影の中で、唯一テイクを重ねたのが、石井さんが北村さんの肩に頭を乗せるシーン。元々仲の良い二人に、演出上のぎこちなさを表現していただくため、あえてファーストカットとして撮影し、徐々に再会した恋人同士のリアリティーを追求しました。

### ◇ 女性の視点から描いた複雑な心情をナチュラルに表現

物語の序盤、遠距離恋愛に対して気丈に振る舞っている様子から、少しずつ不安や寂しさにさいなまれる姿や、幸せいっぱいの回想シーンまで、遥のさまざまな心の動きや表情を、巧みに演じていた石井さん。ラストカットで、突然会いに来た優人へのリアクションについて、監督が「ずるいよ」というセリフを提案すると、石井さんは「ずるいよは、ずるい！」とちゃめっ気たっぷりに却下し、現場を和ませていました。

## ■ 第二弾「想うた 愛する人を想う」篇ストーリーボード



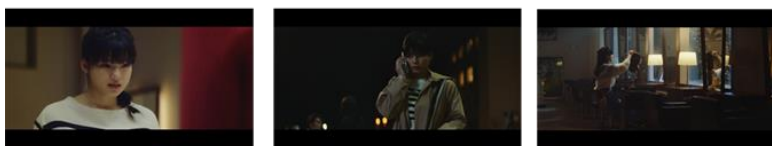
同様に遠距離恋愛中の彼(北村匠海)の話をする彼女(石井杏奈)。遠距離恋愛について、同僚から心配されるが、「大丈夫」と明るくふるまう。同僚と別れ、彼と電話するシーンになり、楽曲「想うた」(作曲:キョサク/MONGOL800)が流れる。



電話やテレビ電話で連絡を取る日々が続く。彼からの連絡で、連休に会えなくなったことを知る。



美容院でアシスタントとして懸命に働く毎日。同僚とのカラオケで、寂しさを紛らわす。



仕事がうまくいかず怒られ、彼に電話をしてもつながらず、寂しさが増す。夜遅くまで、美容院でカット練習を行う。



仕事を終え外に出ると、そこには彼が待っていた。彼を見て思わず目に涙を浮かべる。回想のシーンになり、頭を撫でる彼の姿や、遠距離恋愛の始まりを思い出す。



彼女の頭を優しく撫でる主人公。曲が終盤を迎えたところにコビーがIN。手をつなぎ歩きたす二人を映しCMが終わる。

## ■『想うた』スペシャルサイトについて

『想うた』スペシャルサイトでは、CM 映像や、スペシャルムービーの他、CM メイキング映像、出演者インタビュー、撮影時のオフショット、登場人物紹介やグラフィック、歌詞などをお楽しみいただけます。

『想うた』スペシャルサイト [https://www.jti.co.jp/omouta/?utm\\_source=release2](https://www.jti.co.jp/omouta/?utm_source=release2)



人が人を想うとき、  
それはすべてうたになる。

人が人を想うこと、  
自分のことだけでなく、  
人の気持ちも想像し、  
想い合い、認め合うこと。  
いまみんなが思っているのは、  
そんな世の中なのかもしれません。

私たちは今日も想う。  
そして想いを届けようとする。  
JTIはそのそばで  
みんなの想いを  
支えたいと思えました。

たいせつな人への想いを歌にする  
「想うた」プロジェクト。  
たいせつな想いを思いながら  
聞いてください。

## ■第二弾「想うた 愛する人を想う」篇楽曲歌詞

『愛する人を想う』

歌・作曲：キョサク (MONGOL800) / 作詞：篠原誠

歌詞 LYRIC

愛する人を想う

いつも聞かれる 大丈夫なの  
いつも答える 大丈夫だよ  
距離があっても 今の時代は  
すぐにつながる いつでもどこにでも

仕事もあるし 友達とかもいるから  
ずっと離れていても 大丈夫だよ  
寂しくなったとしても 慣れっこだから

でも本当は 本当の本当は  
会いたい時にすぐに会いたい  
変わらない保証 彼にないように  
変わらない保証 私にもない

あなたは全部 知ってるのかな  
前触れもなく 突然やってきて  
いつものように 優しい声で  
いつものように 聞いてくる

大丈夫か 嗚呼

## ■ 出演者・作詞・作曲者プロフィール

---

### ◇北村匠海 [主人公]

1997年11月3日、東京都生まれ。2008年「DIVE!!」で映画初出演。2017年「君の臍臓をたべたい」で第41回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。ダンスロックバンド・DISH//（ディッシュ）のボーカル&ギターとしても活動している。土屋太鳳とボーカルユニット「TAOTAK」を結成。12月14日より「春待つ僕ら」が絶賛公開中。

### ◇石井杏奈 [主人公の恋人役]

1998年7月11日、東京都生まれ。E-girlsのパフォーマーであり映画やドラマでも活躍中。映画『ソロモンの偽証』前篇/後篇（15）、『ガールズ・ステップ』（15）の2作で第58回ブルーリボン賞新人賞を受賞。このほかドラマ『仰げば尊し』（16）『チア☆ダン』（18）や、映画『四月は君の嘘』（16）、『心が叫びたがってるんだ。』（17）などに出演。

### ◇キョサク (MONGOL800) [作曲]

1981年2月15日、沖縄県生まれ。3ピースバンド MONGOL800 の Vo & BASS、作詞・曲を担当。ソロ活動では他アーティストとのコラボレーションや楽曲提供、プロデュースなども手掛けている。2013年より UKULELE GYPSY として日本各地を旅するなど枠にとらわれない柔軟なスタンスで、さらなる音楽活動に広がりを見せている。

### ◇篠原誠 [作詞]

クリエイティブディレクター・CMプランナー。au 三太郎シリーズなど、マスからデジタル・店頭までのトータルコミュニケーションの構築を得意とする。三太郎シリーズで桐谷健太さん演じる浦島太郎が歌う「海の声」の作詞やドラマの脚本なども手掛ける。2015年の「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を受賞。